

# 令和7年度 学校評価アンケート（児童用）結果報告

## 1. はじめに

日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。学校評価アンケート（児童用）の結果がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

これは単なる数字の記録ではなく、子どもたちの「いま」の姿を、学校とご家庭が一緒に見つめ、語り合うための大切な「対話」の場であると考えています。

集計の結果からは、多くの子どもたちが学校を楽しみ、先生や友達との関わりの中で生き生きと過ごしている様子が伝わってきました。一方で、より健やかな成長のために、学校とご家庭が手を取り合って取り組んでいきたい課題も見えてまいりました。ご確認いただきますようお願いいたします。

## 2. アンケート結果の集計一覧

質問項目	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	児童の傾向
1. 学校で楽しく生活できた	66.4%	28.2%	3.6%	1.8%	9割以上が明るい気持ちで登校できています。
2. 早寝・早起き・朝ごはんができた	25.5%	46.4%	18.2%	10.0%	規則正しい生活習慣には、まだ改善の余地があります。
3. 友達を大切に仲良くできた	54.5%	36.4%	8.2%	0.9%	周囲を思いやる優しい心が育っています。
4. 粘り強く最後まで頑張れた	50.9%	31.8%	15.5%	1.8%	困難に立ち向かう力が少しずつ備わってきました。
5. 挨拶がしっかりとできた	61.8%	23.6%	10.0%	4.5%	礼儀正しい振る舞いが多くの児童に定着しています。
6. 家庭学習を毎日きちんとできた	54.5%	30.0%	10.9%	4.5%	家庭での学びの習慣が概ね身についています。
7. 授業の内容がよくわかった	70.9%	20.0%	8.2%	0.9%	先生の話を中心して聞いている証拠です。
8. 本をたくさん読もうとした	20.0%	29.1%	30.9%	20.0%	本に親しむ意欲を高める工夫が今後必要です。
9. 健康管理（手洗い等）ができた	59.1%	31.8%	5.5%	3.6%	自分の健康を自分で守る意識が浸透しています。
10. 自分には良いところがあると思う	50.0%	32.7%	13.6%	3.6%	自分の価値を認める心をより一層育んでいます。

11. いじめられたり差別されたりした	7.5%	10.1%	10.2%	72.2%	悩みを抱えている児童が、低学年で一部見られました。
12. 相談できる先生がいる	71.8%	19.1%	5.5%	3.6%	先生との間に温かな信頼関係が築けています。
13. 家の人と学校のことを話す	44.5%	30.0%	16.4%	9.1%	学校での出来事が家庭の話題になっています。
14. 係や掃除に一生懸命取り組んだ	39.1%	44.5%	12.7%	3.6%	みんなのために働く喜びを感じ始めている段階です。
15. 漢字や計算の力がついてきた	51.8%	37.3%	10.0%	0.9%	日々の繰り返しの学習が自信に繋がっています。
16. 学校の決まりを守っている	43.6%	39.1%	15.5%	1.8%	社会のルールを学ぶ姿勢が見て取れます。
17. 話をよく聞き、発表ができた	37.3%	37.3%	16.4%	9.1%	自分の考えを言葉にする力はこれからの伸びしろです。
18. 将来の夢や目標を持っている	60.9%	19.1%	12.7%	7.3%	未来への希望が子どもたちの心に溢れています。
19. タブレット学習は楽しい	80.9%	13.6%	3.6%	1.8%	タブレットを活用し、意欲的に学んでいます。
20. 休み時間は外で元気に遊んでいる	57.3%	23.6%	12.7%	6.4%	元気いっぱい体に動かす健康な姿が見られます。

### 3. 「本校の良さ」

アンケート結果で特に高く評価されたのが、「**学校生活の楽しさ**」、「**授業の理解**」、そして「**先生への信頼**」の項目です。

これらが揃っていることは、非常に大きな強みです。学校が楽しい場所であり、困ったときに相談できる先生がいるという安心感は、子どもたちの「自分を大切に思う気持ち」や「将来の夢」を育むための何よりの土台となります。安心できる場所だからこそ、子どもたちは失敗を恐れずに学び、友達と仲良く過ごすことができるのです。

また、タブレットを使った学習への意欲が非常に高いことも特筆すべき点です。これは単に「楽しい」だけでなく、「自ら進んで調べ、考える力」を養う大きな一歩となっています。挨拶や健康管理の良さも含め、本校の子どもたちは「健やかな体」と「前向きな心」をしっかりと持っていることが分かります。こうしたポジティブな雰囲気は、学校全体の学びの質を高める素晴らしい財産です。

### 4. 子どもたちのさらなる成長に向けた「これからの課題」

一方で、もっと伸ばしていきたい課題についても向き合いたいと思います。

特に「読書習慣」の項目は、肯定率が他の項目より低くなっています。読書は言葉の力を豊かにするだけでなく、物語の世界を通じて「相手の気持ちを想像する力」を養う心の栄養です。読書の習慣が身につ

くと、難しい問題に出会った時も落ち着いて考えを深めることができます。学校でも図書室の利用を促してまいります。ご家庭でも「今はどんな本を読んでいるの?」といった、本を介した対話を少しずつ広げていただければ幸いです。

また、「生活リズム」も大切な課題です。「早寝・早起き・朝ごはん」は健康の基本であるとともに、授業への集中力に直接関わっています。寝不足の状態では、教師の話も心に届きにくくなってしまいます。子どもたちが学校で100%の力を発揮できるよう、夜のテレビやゲームの時間を整えるなど、ご家庭でのルール作りを改めてお願いいたします。

## 5. 分野別の考察：日々の暮らしと学びの姿

子どもたちの今の姿を、「生活」「学習」「心」の3つの視点でまとめました。

- **生活：健やかな体づくり**

外遊びを楽しみ、手洗いを徹底するなど、自分の体を大切にする意識がとても高いです。決まりを守ることや掃除への取り組みなど、集団生活の中で規律正しく過ごそうとする、しっかりとした姿勢が育っています。

- **学習：確かな学力の芽生え**

授業がよくわかり、漢字や計算の定着に自信をもっています。タブレット学習への高い意欲を、これからは「自分の考えをまとめ、周りに伝える力」へと繋げていくことが次のステップとなります。

- **心：豊かな心の育ち**

友達を大切にし、将来に夢をもつ子どもたちの姿は、学校の宝物です。教師という相談相手がそばにいて、多くの子どもたちが安心して「自分には良いところがある」という実感を深めていけるよう、これからも温かく見守り続けます。

## 6. おわりに：次年度に向けて

今回のアンケートで見えてきた本校の強みをさらに伸ばし、課題である「読書への意欲」や「生活リズムの改善」に、より一層力を注いでまいります。

デジタルの力を上手に使いこなし、学ぶ楽しさを感じながらも、読書を通じてじっくりと心を耕し、自分の言葉でしっかりと想いを伝えられる子どもの姿を目ざして、私たち教職員も日々励んでまいります。

教育は、学校とご家庭が同じ方向を向いて歩む「二人三脚」の道のりです。子どもたちの輝く笑顔と、一人ひとりの無限の可能性のために、これからもご協力をよろしくお願いいたします。